

図書館報



イラスト
I. M.

今月の図書館報のテーマは、「冬におすすめ！読み聞かせ特集」と

「編集者が皆さんに読んでもらいたい小説」の2本立てです♪

アンケートにご協力いただいた先生方ありがとうございました！

2年図書委員 I.M.・T.N.



冬におすすめ！読み聞かせ特集



先生方や司書さんに冬の季節におすすめの絵本、紙芝居を教えてくださいました！
また、先生方が読み聞かせをする際に気を付けているポイントを伺いました！

●二階堂邦子先生おすすめ！

『ごきげんのわるいコックさん』（紙芝居）まついのりこ 童心社



とてもおもしろく、子どもたちの創造力（想像力）を生み出す紙芝居。

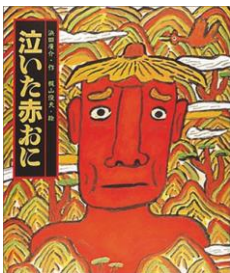
コックさんの顔がいい、笑顔が一番、笑顔いっぱい保育がいいな。

Point

自然にありのままの私で読みます。聞かせようとは思わず、私が楽しんで声を出して読んでいます。

●堀内弓子先生おすすめ！

『泣いた赤おに』 浜田広介作 偕成社



この本は、現在23歳になる長男が5歳くらいのときのクリスマスに、保育園の園長をしていた主人の母からプレゼントされたものでした。最後のページの読み聞かせをしているとき涙が込み上げてきて、のどが詰まり声が震えてきてしまいました。ふと、横で聞いていた長男をみると、うるうると目に涙をためていました。

寒い冬の時期に親子で心温まる感動体験をさせてもらった絵本として記憶に残っているので、ぜひ手に取って読んでみてください。

Point

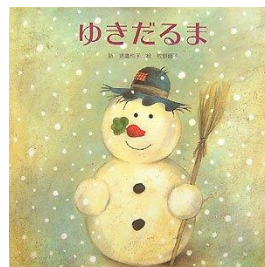
子育てをしながら仕事をしていると、なかなかゆったりとした時間をとることができない日々になりがちでした。そんな中、寝る前の親子の楽しみの一つとして絵本の読み聞かせをしていました。今思えば、日々のわずかな時間ではありましたが貴重な時間だったと思います。将来、大切な人に絵本のプレゼントや読み聞かせができたらと、ひそかに願っています。

「気を付けていること」というテーマとはずれてしまいましたが、読み聞かせたい相手に心を寄せつつ、自分自身の心の琴線にもふれる絵本との出会いが大切だと思います。

●佐久間博子先生おすすめ！

『ゆきだるま』 武鹿悦子 ひさかたチャイルド

若い頃、児童館で子どもたちにたくさん絵本を読んでいたのですが、この絵本は、特に心に残っています。月曜日、元気いっぱいだった雪だるまが、季節の移り変わりとともに、日に日に溶けて体が小さくなり、日曜日には雲の上へ。切なく寂しい気持ちになります。雪だるまの姿を見る子どもたちの素直な心の内を描いた絵は、とてもやさしい表情で、心温まる一冊です。



Point

抑揚をつけるだけでなく、決め手となる言葉を発する前と後にほんの少しだけ、「間(ま)」を取ります。子どもたちは、その数秒の間に、ワクワクしたりドキドキしたり、お友達の表情を窺ったりして、より絵本の世界を楽しめるのではないかと思います。



●本田幸先生おすすめ！

『やまあらしぼうやのクリスマス』 ジョセフ・スレイト グランママ社



もうすぐクリスマス。どうぶつの子どもたちが、クリスマスの劇をすることになりました。やまあらしぼうやも劇に出たいのですが、とげとげの背中のせいでまわりのどうぶつ達から嫌がられてしまいます。やまあらしぼうやのおかあさんは、「ぼうやは おかあさんの ころのひかり」と、ぼうやを信じて励まします。おかあさんの言葉はいつまでも心に響きます。大好きなクリスマスのお話です。

Point

読み聞かせが上手になるヒント

- ・絵本を大好きになること。
- ・絵本を隅々まで味わうこと。(文字だけでなく絵もじっくり楽しんで下さい。)
- ・鏡に向かって何回も練習すること。(自分の姿を客観的に見ることができます。子どもから、どのように見られているかを知ることができます。)

図書館の皆さんのおすすめの本！

●亀谷美代子館長おすすめ！

『小学館版読みきかせ 日本昔ばなし』シリーズ 西本鶏介 小学館

日本は小さな国ですが、北海道から沖縄まで、その地方の方言で昔話があります。冬は東北がいいかもしれません。

ゆっくり絵を見ながら語ってください。中にはオノマトペがあり、リズムカルに面白く読むことで子ども達に楽しい記憶が残ると思います。絵はおだやかなわかりやすい絵がいいと思います。昔からある小学館のものがおすすめです。



Point

1. 読み聞かせる前に自分で読んで楽しんでください。
2. 数人でしたら抱っこしたり並んで絵の方向を同じにして互いのぬくもりを感じながら一緒に見ましょう。
3. 多数に読む場合は全員がよく見えて、聞こえるように絵本の大きさを考慮しましょう。
4. 読み手は感情をあまり込めず、丁寧に読みましょう。
5. 頁を移す早さは字を読み終えるだけでなく、見ている子ども達が絵を十分楽しめるようにしましょう。（絵が見えるように）

●原真由美さんおすすめ！

『すずちゃんののうみそ』竹山美奈子 岩崎書店

6歳のすずちゃんは自閉症。時々手をひらひらさせたりくるくる回ったり、以前の怖い夢を思い出して急に泣いたり、人より音が大きく聞こえて負担になったりします。これはちょっとだけ人と違う指令が脳から出ているからなんです。この絵本はすずちゃんが保育園で楽しく過ごすことができたお礼にとお母さんが書きました。私が一番好きな場面は、すずちゃんがお友達のこぐ三輪車に乗っている姿です。図書館には、障がいについて小さな子ども達に分かりやすく伝えることができる絵本が沢山あります。ぜひ手に取ってほしい一冊として選びました。



●大久保美玲さんおすすめ！

『やこうれっしゃ』西村繁男 福音館書店



上野発金沢行の夜行列車が冬の夜を走ります。家族でお弁当を食べたり、仲間と酒盛りをしたり。夜が更けると寝台車は暗くなり皆眠りにつきます。絵本の人たちと一緒に金沢まで向かうと、まるでみんなで旅行しているような気持ちになり、わくわくした雰囲気が生まれると思います。

❄️❄️❄️ 編集者が皆さんに読んでもらいたい小説 ❄️❄️❄️

編集者がおすすめする小説をピックアップ！
児童養護がテーマの小説から、映画化された小説、ファンタジー小説など、
いろいろなジャンルのものを集めてみました。

①『明日の子供たち』（有川浩）



児童養護施設が舞台の物語。施設での暮らしや職員と子どもとの関係、子どもたちのケース、それに伴う心情などが子ども目線と職員目線で事細かに描かれています。また、児童養護施設と自立支援施設の関係の在り方や、地域の人たちへの理解の求め方などを考えさせられます。

施設実習の前に児童養護施設の一例（イメージ作り）として読んでおいたり、または就職を考えている人におすすめ。（幻冬舎）

②『かがみの孤城』（辻村深月）

様々な事情で学校に行けなくなってしまった子どもたちの物語。光る鏡の先に広がっている不思議なお城のような建物でどのようなことが起こるのか？ 子どもたちが学校へ行けなくなってしまった理由や、感情の変化がとても繊細に描かれています。

学校でそんな子いたな、そんなことあった（感じたことある）、など共感できることが一か所でもあればいいなと思います。（ポプラ社）



③『ナミヤ雑貨店の奇蹟』（東野圭吾）



三人の男が忍び込んだ一軒の空き家。表の看板にはかすれた文字で「ナミヤ雑貨店」と書かれています。ポストに様々な相談が舞い込み、三人は戸惑いつつも一つひとつ相談に乗っていきます。過去と未来そして、様々な場面で登場人物が交錯します。

この小説は2017年に西田敏行さんと山田涼介さんのダブル主演で映画化され、門脇麦さんや村上虹郎さん、尾野真千子さんも出演されました。観に行かれた方もいるのでは？（角川書店）

④『夜が明けたら、いちばんに君に会いに行く』（汐見夏衛）

大嫌いだった君が、私の世界を変えました。真面目でしっかり者の茜には、ただ1人、嫌いな人がいます。同じクラスの深川青磁。言いたい放題、やりたい放題の自由人。そんな中、文化祭の劇で青磁に協力を頼むことになり……。とても心に染みる作品でした。ぜひとも大人の女性にも読んでいただきたい本です。（スターツ出版）



第2回 絵本★ブックトーク

11月13日（水）に絵本・ブックトークを開催しました。参加者3名が持ち寄った絵本の好きなおところやおすすめのポイントを紹介しました。参加者、見学者のみなさん、ありがとうございました！

★★★当日紹介された絵本です★★★

『賢者のおくりもの』オー・ヘンリー

1年 K.R.

私がこの物語で一番好きなのは、貧しい夫婦がそれぞれ一番大切なものを売って、クリスマスのために相手の喜ぶ贈りものを用意するという場面です。作者も「このふたりのような人こそ最高の賢者なのだ」と言っています。人を思いやる気持ちを大事にしたいと感じるこれからの季節にぴったりの絵本です。
(金の星社)



『ゴムあたまポンたろう』長新太

2年 T.N.

頭がゴムでできている男の子、ゴムあたまポンたろう。昼寝中の大男のつもの、バラのとげ、山……色々なものにぶつかって、ポンたろうはポーンとどこまでも飛んでいきます。実習園で読み聞かせた時、「次は何にあたるのかな？」と想像しながらみんなで楽しんでとても喜ばれたユニークな絵本です。
(童心社)



『ともとのぱくぱくぱっくん』 きたやまようこ

2年 K.M.

背中に羽のはえたともとは食べることがとても大好き。バナナを食べると黄色い羽に、葉っぱを食べると……緑の羽にと、次々変身します。食べ物の色を知ることができる絵本です。シリーズの「いないいないばあ」も子ども達と一緒に楽しめてとても人気でした。
(主婦の友社)



ひと箱図書館をどうぞ

「今、気になることの本を集めたコーナーがあったら」という要望から誕生した「ひと箱図書館」。その時々のお題のテーマの本を絵本コーナーに展示しています。

心もからだもぽっかぽかになる本



寒い冬にぴったり！

ラクして家事を楽しむ本



年末の大掃除にどうぞ

保育士さんキャリアアップ支援

読みたい本が
きっと見つかる





図書館カレンダー



12 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

休館日

平日（月～金）9:00～18:20

授業のない日 9:00～16:45 12.23（金）クリスマス集会／12.24（火）～26（木）

1.16（木）保育内容研究発表会 ／1.24（金）実習報告会

休講等で変更がある場合は、その都度掲示でお知らせします。

12.27（金）～1.3（金）は休館します。



○編集後記

今回初めて図書館報を作りました。初めは何をしたらいいのかわからず作ることが不安でしたが、司書さんが今までの図書館報を見せて下さったり、アンケート回収を手伝って下さったりしました。アンケートに答えて下さった先生方、そして館報作成を手伝って下さった司書さんありがとうございました。

実際に作ってみて大切だと感じたことは、季節に合わせた内容だけでなくカラー印刷ということも考えて作成しなければいけないということでした。今回の経験は園日より作成の時などに役立てることができそうだなと感じました。

最後に今回一緒に作成したメンバーの方々、お疲れ様でした！ (I.M.)

今まで読んできた小説を図書館報で紹介できることを嬉しく思います。

今回先生方に教えていただいたおすすめの絵本や読み聞かせの方法を、皆さんも現場に出た時や実習の時に活用してみてください。

最後になりますが協力して下さった先生方、司書さんありがとうございました。

(T.N.)

